

5. 旧小西家住宅



- ◆所在地 中央区道修町1丁目6番10号
- ◆登録年月日 平成15年4月11日

◆概要 旧小西儀助商店(現コシ株式会社)の旧店舗・住宅で、明治36年(1903年)に一部3階建てで完成、塀筋の幅で西側が切り取られ、のち3階部分を撤去して現在の姿になった。船場に残る数少ない町屋の遺構のひとつとして、薬種問屋の形態を残した土蔵造り風の外観が特徴で、国の重要文化財に指定されている。内部は非公開。

8. 菅原城北大橋



- ◆所在地 東淀川区豊里1丁目・旭区生江3丁目間
- ◆登録年月日 平成15年4月11日

◆概要 大阪府で最初に有料道路の事業を取り入れて平成元年(1989年)に完成した斜張橋で、普通車の通行料が100円であることから、百円橋と呼ばれ親しまれている。2つのタワーが多本数のケーブルに力を分散して支えている姿が美しい。この橋が架かる淀川には、ヨシ原や天然記念物のイタセンバラの棲むワンドがあり、建設にあたってはこれらの安全に配慮された。また城北公園の中を通るため景観面で数々の検討がなされた。

6. 桜宮橋



- ◆所在地 北区天満1丁目・都島区網島町間
- ◆登録年月日 平成15年4月11日

◆概要 昭和5年(1930年)に第一次都市計画事業によって大川(旧淀川)に架けられたアーチ橋で、最大支間は104mとアーチ橋としては戦前では日本最大であった。アーチの両端にロマネスク風の昇降口があり、橋の景観を高めている。意匠指導は武田五一による。銀色に塗られているため、銀橋と呼ばれ親しまれている。

9. 総本山 四天王寺



- ◆所在地 天王寺区四天王寺1丁目11番18号
- ◆登録年月日 平成15年4月11日

◆概要 四天王寺は、推古天皇元年(593年)聖徳太子により創建された日本最古の官寺で、南北一列に並ぶ伽藍配置は四天王寺様式と呼ばれる。たびたびの戦火や災害にあってきたが、西門の石鳥居や元和9年(1623年)再建の六時堂・五智光院・本坊方丈などは国の重要文化財に指定されており、中心伽藍は昭和38年(1963年)に鉄筋コンクリート造で再建が完成した。

7. 宗教法人 住吉大社



- ◆所在地 住吉区住吉2丁目9番89号
- ◆登録年月日 平成15年4月11日

◆概要 草創は神功皇后の海外渡航時の安全祈願の故事に由来すると伝えられるが、現在の本殿4棟は、文化5年(1808年)造営されたもので、桧皮葺き・切妻造り妻入りの住吉造りと称され、市内唯一の国宝建造物である。境内には、慶長11年(1606年)に架設され住吉大社の象徴ともいえる朱塗りの太鼓橋(反橋)をはじめ、国の重要文化財の石舞台や南門・東西楽所などや、全国から献灯された石灯ろう600余基などもある。

10. 通天閣



- ◆所在地 浪速区恵美須東1丁目18番6号
- ◆登録年月日 平成15年4月11日

◆概要 通天閣は、明治45年(1912年)内国勧業博の会場跡に新世界・ルナパークとともに完成。昭和18年(1943年)火災にあい、鉄材供出により解体され姿を消したが、地元の熱い思いを受けて、昭和31年(1956年)に2代目通天閣が再建された。高さ103m、円形エレベーター、展望台が設置されており、平成8年(1996年)の改修によりリニューアルされたネオンは、交通安全の標語、天気予報にも活用されている。